

古民家調査に参加しませんか

ボランティア募集

彦根の古民家データは、7、8年前に滋賀県立大学の土屋研究室によって作成され、その時点の古民家の件数や分布が明らかになりました。しかし、その後も古民家の消滅は続いているため、更新が必要です。NPO彦根景観フォーラムでは、この古民家データの利用許可を得、リニューアル（最新化）を行うことにしました。

この古民家データは、地図上の建物に建設時代別に色を塗った形で表現されています。また、一つひとつの建物について、外観、改造の程度などを記載した情報カードがあります。これら情報カードを集計して、概ね古民家が1,000件あることがわかっています。

古民家データをリニューアルするためには、建物一軒一軒にあたり、現在の状況を調査する必要があります。これは相当な力仕事で、多くのボランティアの協力なくしては、到底できません。ご協力いただける方は、是非、事務局へご連絡をお願いします。

愛称大募集



NPO Hikone Keikan Forum

まだ、名前がなくて、さびしいよ…。早くかわいい名前をつけてくださ～い

先月号で、かわいいマスコットの愛称を募集しました。残念ながら、まだ決定に至っていません。マスコットくんは、早く名前がほ

し～いと皆さんの応募をキリンの首のように長～く心待ちにしています。ぜひぜひ応募してください m () m
今回は、先着20名様に、かわいい「足つぽ」くんを特別プレゼント。

応募は、マスコット名に住所、氏名、年齢をお書きの上、ファックスまたはメールで。

FAX:0749-27-1431 e-mail hikonekeikan@hotmail.com



湯葉屋「大半」



大半さんの作業風景



芹橋組のようす

私の好きな

まちなかスポット

芹橋組・足軽屋敷

岩根 順子

過日の「青い山脈」映写会では、ロケ現場の確認作業がとても愉快であった。撮影が行われた当時、芹橋9丁目の角に住まいしており、いわゆる「組」と称していた碁盤の目状の町中は、格好の遊び場所であった。夏休みのラジオ体操は芹川の土手が会場となり、トランジスタラジオが登場する前のこと、堤防に一番近いお宅のラジオを朝6時になるとボリュームを上げていただいていた。

映画の中、梅太郎ねえさんが颯爽と歩いていた道は8丁目の坂道。大水のたびに何度も流れた木製の後三条橋が懐かしかった。角には先年消失したが、井伊藩ゆかりの役所があった。

今、この付近には「大半」という湯葉屋さんがあり、軒先には、当時と同様、たくさんの薪が積まれている。町中の手作りの豆腐屋さんがほとんどなくなった今、貴重な存在といえよう。

沼田先生の診療所となっていた建物はおそらく足軽屋敷のどれかであろう。「組」一帯は規格サイズの住宅が軒を連ね、それぞれの前庭は、季節の花が植えられ、整然とすがすがしい雰囲気漂っていた。なぜか、頑固なおじさんや、少々口うるさいおばさんが多かったような記憶も残るが、今おもえば、地域の人びとが暮らしの中で厳しい躰をしていたのであろう。

建造物だけではなく、人びとの暮らしの中に城下町特有の気性が色濃く息づいていた時代だった。

NPO 彦根景観フォーラムに入会して、彦根のまちづくりを実践しましょう。

●月例会 毎月第2水曜日午後7時～9時 滋賀大学陵水会館にて 年会費6,000円

●彦根景観フォーラム事務局 TEL 080-1416-5968/0749-27-1141 FAX 0749-27-1431

<http://www.h6.dion.ne.jp/~hikone/hikone2/index/html> e-mail: hikonekeikan@hotmail.com

●きらっと彦根 年4回発行 次号1月1日予定 発行/山崎一真 編集/堀部栄次



きらっと彦根

2005 10

彦根の魅力★再発見

彦根まちづくり情報誌 2005年10月15日 通巻2号 編集/発行 NPO法人 彦根景観フォーラム

ぶらっと彦根 11月5日(土)

一朝鮮通信使の足跡をたどる

秋の「まちあるき」を楽しみましょう。旅のテーマは「朝鮮通信使の足跡をたどる」。今回は、世界遺産に登録されている韓国スーウォン(水原)から京畿大学の皆さんも参加します。

第1部 講演「朝鮮通信使の足跡をたどる」

- 10時~12時 宗安寺(彦根市本町二丁目) 無料
- 朝鮮通信使と宗安寺・彦根 宗安寺住職 竹内真道氏
- 朝鮮通信使と朝鮮人街道
高月町教育委員会学芸員 佐々木悦也氏
- 東北アジア城郭都市研究
滋賀県立大学教授 土屋敦夫氏
韓国京畿大学教授 金 東旭氏

第2部 まち歩き

13時~15時30分 通信使の宿泊所「宗安寺」を出発、他の宿泊所や朝鮮人街道界隈を見学します。
参加料: 300円(資料・保険代)



朝鮮高官の肖像(宗安寺伝)



明治の京橋の景観が携帯に

ユビキタス「学習型観光システム」実証実験

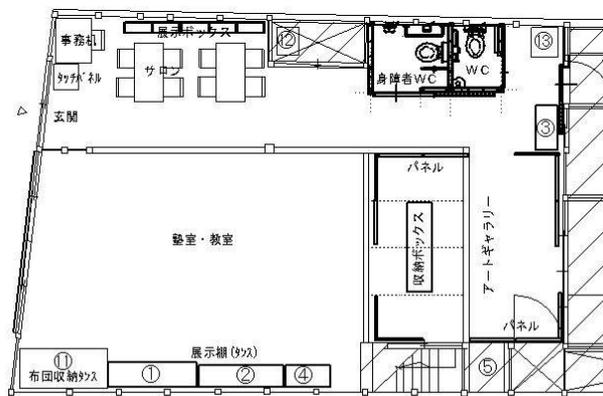
ケータイdeまちあるき

QRコード(2次元バーコード)をカメラ付き携帯電話で読み込むと、その場にふさわしい観光・名所旧跡情報が画面に表示され、学習しながら観光ができる「学習型観光システム」を、滋賀大学などと共同で開発しています。

11月5日には、ICタグを使った実証実験も行います。ぜひ、「ぶらっと彦根」で、あなたも体験してください。

「街の駅」寺子屋カ石 10月船出

NPO彦根景観フォーラムでは、5月に公開実測を実施したのち、「街の駅」実行委員会を組織し、この建物の再生法を模索してきましたが、このたび10月中旬にオープンする運びとなりました。当面、商店街の活性化塾・子供塾・地域住民塾(サークル等)の場を中核として、ギャラリー・地域住民の憩いの場・観光客の中継スポット・河原町何でも資料館としてのプログラムを準備しています。最大の悩みは、ボランティアの確保です。資料の提供・発掘や後世に伝えたい技や文化を伝えたい方、河原町小咄などの話題のご披露お願ひできる方、そして「街の駅」の世話方を募集しています。是非、皆さんのご協力をお願いします。



特集

町家活用講座
彦根の町家を
楽しむ、学ぶ、活かす

連載 創造的修景を考える(2)

実例-パブリック 戸所岩雄
私のすきなまちなかスポット
芹橋組・足軽屋敷 岩根順子

お知らせ

- かわいい「愛称」を募集します
- 古民家調査に参加しませんか
- NPO彦根景観フォーラム入会案内